

職場でのクリスチャン エペソ 6 章 5 節から 9 節

JD 牧師

今日の章ごと、節ごとの学びの箇所は、「エペソ人への手紙」6 章 5 節から 9 節です。出来ればお立ちになって、聖書を開いてください。ご無理ならそのまま大丈夫です。私が読むのについてきてください。使徒パウロは、聖霊によって、エペソの教会へ手紙を書いています。5 節、

—エペソ 6:5—

奴隷たちよ。キリストに従うように、恐れおののいて真心から地上の主人に従いなさい。

—エペソ 6:6—

ご機嫌取りのような、うわべだけの仕方ではなく、キリストのしもべとして心から神のみこころを行い、

—エペソ 6:7—

人にではなく主に仕えるように、喜んで仕えなさい。

—エペソ 6:8—

奴隷であっても自由人であっても、良いことを行えば、それぞれ主からその報いを受けることを、あなたがたは知っています。

—エペソ 6:9—

主人たちよ。あなたがたも奴隷に対して同じようにしなさい。脅すことはやめなさい。あなたがたは、彼らの主、またあなたがたの主が天におられ、主は人を差別なさらないことを知っているのです。

一緒に祈りましょう。愛する天のお父様。どうか今、私たちの心を静め、あなたと、今日私たちに与えられているあなたの御言葉に集中するため、あなたが必要です。主よ、このあなたの教会の、あなたの民を祝福して下さいますように。イエスの御名によって祈ります。アーメン。どうぞご着席ください。ありがとうございます。今日、皆さんにお話ししたいのは、「職場でのクリスチャン」です。これは神の御言葉の中で、最も大切な箇所の一つです。これは、こんにち私たちが直面している事と、密接に関連します。使徒パウロは、この手紙の前の章で、聖霊に満たされることを書いています。これは、言わば前提条件だと思います。この事がとても大切な理由は、全ては、クリスチャンが聖霊に満たされる事が前提だからです。そのためパウロは、エペソの教会に、強く勧めているのです。クリスチャンが聖霊に満たされる時、聖霊に満たされた夫、聖霊に満たされた妻、聖霊に満たされた家族、そしてここで、聖霊に満たされた従業員や、雇用者でさえ、こうなります。私は、神の御言葉が、とても実践的で、とても正直なのが大好きです。それは真理です。生き生きと活発な神の御言葉は応用でき私たちの人生のすべての点において、適用できます。この箇所を先に進む前に、ここで提示したい事があります。パウロがこれを書いた時、ローマ皇帝には、約 6 万人の奴隷がいたと言われていました。奴隷制度という観点で、奴隷だったということです。そして、この奴隷は、人間より下だと見られていました。その奴隷の中には新生したクリスチャンもいました。パウロは、クリスチャンの奴隷が、その主人の為に働くことの問題について、指摘します。なぜ私がこれを指摘したかという、理由は、もう一度言いますが、これは、私たちの置かれている状況と、密接に関連するからです。このようなクリスチャンの奴隷が、その主人に従う唯一の方法は、聖霊に満たされているかどうかです。聖霊に満たされ、聖霊のバプテスマを受けているかどうか。言い換えると、パウロが書いている通り聖霊だけが、主に対するように、その主人に従う事を可能にします。こんな風に言わせてください。聖霊の満たしなしでは、特に奴隷は、主に対するように、心から、奴隷として働

く事は不可能です。人がそれを理解すると、もっと合理的に、理に適います。従業員や雇用者である私たちにとって、私たちは奴隷ではありませんが、しかし、私たちの日々の中で、実践できます。そう思いませんか？ 同意しますよね？ 言い換えると、もしあの時代の奴隷として彼らが聖霊によって、主に對するように主人に従う事が出来たのなら、奴隷でない従業員である私たちは、どれほど雇用者に従う事が出来るでしょうか。興味深いと思ったのは、パウロは、聖霊に導かれ、この手紙の中で クリスチャンの結婚や、クリスチャンの家族について書いた直後に、これに触れます。そしてこの事は、エペソだけでなくコロサイにも出てきます。ところで、エペソが終わると、次の書はコロサイです。もう一度言わせてください。言うておく必要があります。でないと本文から取り除く事になります。聖霊に満たされていないければ、神が私たちに召し、命令されているような、夫、妻、従業員、雇用者である、希望はありません。神が、これを聖書聖典に含めるレベルに上げる必要があると考えられた点からも、この重要性が伺えます。ここのエペソだけでなく、コロサイにも再び出て並行する内容です。使徒パウロがコロサイの教会に書いている事を、聞いてください。「コロサイ人への手紙」3章 22 節から 25 節です。

ーコロサイ 3：22ー

奴隷たちよ、すべてのことについて地上の主人に従いなさい。人のご機嫌取りのような、うわべだけの仕方ではなく、主を恐れつつ、真心から従いなさい。

ーコロサイ 3：23ー

何をするにも、人に対してではなく、主に對してするように、心から行いなさい。

これがキーワードです。この後、これについて話したいと思います。

ーコロサイ 3：24ー

あなたがたは、主から報いとして御国を受け継ぐことを知っています。あなたがたは主キリストに仕えているのです。

ーコロサイ 3：25ー

不正を行う者は、自分が行った不正を報いとして受け取るようになります。不公平な扱いはありません。

もう一度言いますが、これは、雇用者と従業員にも当てはまります。私が言おうとしているのは、初めは少し大胆に聞こえるかもしれませんが、しかし、私が信じているのは、クリスチャンの靈的成熟度の最高の指針は、どんな雇用者や従業員であるかです。どれだけ熱心な労働者なのか。彼らの仕事に対する心が、人に向いているのではなく、主に向いているのか。何をするにも、何に手を付けるにも、彼らは全力でしているのか。これは、神への敬意です。それに対して、神は、そのことを尊重し、報いてくださいます。牧師になる前、私は従業員であり、自分の事業を始めたため、雇用者でもありました。なので、私は両方の立場を経験しました。何年もかけて主は、私にいくつかの事を教えてくださいました。この点で主が教えて下さった事の一つは、これはビジネスの世界で、実に真理である事ですが、しかし、ミニストリーにおいても同様です。そして、この価値のあるレッスンは、

「私たちが神聖さを世俗から引き離す時、間違いを犯す」という事です。何が言いたいのか、説明したいと思います。私が自分の事業をしていた時、私の事業が、私のミニストリーでした。そこには区別はなく、この 2 つの間に隔たりはなく、私は日曜日にはクリスチャンで、月曜日にはビジネスに戻り、全く別人になる、のではありませんでした。実際、毎週火曜日は、事業は休みにして、私が担当していた奉仕をするため、教会へ行きました。実際私は、役員でしたし、牧師が不在の際、代役をつとめる事もありました。私は完全に事業は休み、そしてその日、主に仕える事に集中していました。私の事業が私のミニスト

リーで、私のミニストリーは私の事業だからです。そして、いつも興味深い事に、神が本当に尊重して下さい、水曜日にはいつも決まって、買い手から電話が入り、彼らは私にこう言います。

「昨日（火曜日）、あなたに電話しようとしていたんだけど、忙しかったから今日電話したんだ。」

これは主だと、分かっていました。主は、私の献身を尊重し、事業を守ってくださいました。それから間もなくして、もう一度言いますが、私がこれを言う時、皆さん私を誤解されないように願います。私についてを知っている方もいると思いますが、私は自動車のディーラーです。はい、笑ってもいいですよ。私は何年もの間、車の事業に関わって来ており、卸売りと、買い付けサービスもしました。何年も前に、本土にいた頃です。私は、公平な価格で交渉する為の買い付けサービスをしていました。主に、未亡人の為のです。私は、ワシントン州スポケーンにある、自動車協会（AAA）で働いていました。そして、私はそこで、聖書勉強会を始めました。ランチタイムの間にして、あらゆる職業の人々が来ていました。私は御言葉を教えました。それは私の事業でしたが、私のミニストリーだったのです。私がこう言うのは、他の理由があつてのことではなく、私たちが世俗と聖なる事を切り離さない時、神がして下さる事について証しする為です。あなたの仕事は、あなたのミニストリーだと気づいていますか？ 私は自動車ディーラー業界で、聖書勉強会を始めました。想像できますか？ ディーラーの人たちが皆、キリストに立ち返り始めたのです。25年以上たった今も、彼らは主と共に歩んでおり、何人かは、こんにちミニストリーに携わっています。皆さんご存知だと思いますが、「マタイの福音書6章33節」、基本的にイエスはこう仰います。

—マタイ 6:33—

まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。

神は、私の事業と財政だけでなく、私のミニストリーも同じように祝福くださいました。当時、神が私にしてくださったことのお陰で、今、私は、フルタイムでミニストリーが出来ているのだと思います。ところで、この「フルタイムミニストリー」というものに、なかなか馴染めないでいます。ミニストリーは、生涯を通じてです。”フルタイム”ミニストリーでも、”パートタイム”ミニストリーでもなく、フルタイムミニストリーです。あなたが気づいていようがなかろうが、私たちは全員、フルタイムミニストリーです。神が、あなたをその場所、その仕事に置かれたのは、理由があります。神は、あなたを独自にその場所に置き、ミニストリーに行けない場所にいる人々へ、あなたに手を差し伸べさせられます。実に興味深いのは、私が自分の事業を売り、最初の教会を始め、牧師としてミニストリーに関わり始めた後、人々が私を見る目が変わったのに気づきました。今や突然、私は「聖職者」、私は「聖職者」”装束”を着た人です。まあ、私のシャツは一応、コットン100%ですけどね。今や急に、信徒と聖職者の間に、深い溝が出来ました。私はそれが、大嫌いです。なぜなら、突然にして、私が牧師でなかった時に手が届いていた人々に、届かなくなったからです。私の話の向かう先がわかりますか？ 皆さんは、私が手の届かない人々に、届く事が出来ます。職場にいるあの同僚に、あの上司に、あの雇用者に。もう少しまとめますので、皆さんご辛抱下さい。皆さんは、もしかしたら、自分の上司は反キリストだと思っているかもしれません。違いますよ。神があなたをその会社に置かれたのは、あの上司のためや、あの雇用者のためや、あの同僚のためではないと、どうしてわかりますか？ おお、何と言う事。たくさんの経験を分かち合えばいいのですが、皆さんも色々な経験をお持ちだと思います。自分の人生ではなく、まず他の方の人生で、私が実際に目にしたことを。興味深くないですか？ 誰かが医者から診断を受けると、クリスチャンの所へ来て、祈って欲しいと頼みます。私は、こんな風に言うのを聞いた事があります。それは、ノク

リスチャンの同僚や、ノンクリスチャンの雇用者、ノンクリスチャンの従業員の彼らは、あなたのクリスチャン人生を見えています。使徒パウロが言っているように、彼らはあなたの人生を手紙のように見えています。(II コリント 3:2 参照)

彼らは、あなたのクリスチャン人生を見て、自分自身に2つの疑問を投げかけます。

「本物か?」「上手くいくのか?」何年も前にシェアしたことがあります。私がメルセデスベンツで働いていた時の事、そこには、ある男性がいました。私が確信していたのは、彼は毎朝起きて、まず頭に思い浮かべていたのは、どうやって私をいじめようか、どうやって私の仕事を盗もうか、どうやって私の人生をみじめにしようか。この男は、控えめに言っても、私の肉の棘でした。この男に、耐えられなかった。なので、私はただ祈りました。正確にどう祈ったかは言いませんが、—(笑)—

どうして笑ってるんですか? 皆さんも、こんな風に祈ったことあるでしょ? 私は祈りました。

「神様、彼が、どこか他の仕事に転職するようにして下さい。でしょ? 私に、他の仕事を見つけさせてください。」この時、本当に恐ろしく、私は毎日仕事に行くのが、嫌でたまりませんでした。この男は、私の邪魔をして、何と言うか…迫害されているようでした。そのように私は思っていたのです。そしてある時、神が私の祈りに答えられました。私には思いつかなかった、神のご方法で。結局この男は転職し、スポケーン市を離れ、シアトルに行きました。

「私の神イエス様、感謝します。祈りには力がある!主を讃えます!」そして、2、3年経ったころ、私は町で、時間に遅れていて、ある場所に行こうとしていました。そこに、私の目の前に、ある車があります。それが、車の流れを止め、人々を横切って私の方へやって来るのです。私は、「これはどういう事? どうなってるの?」と思いました。ハワイでは、これを“観光者”と呼びますけどね。—(笑)— すみません。言ってしまいました。私の気持ちが分かりますね? 思いやりを持てば、主が恵みを下さる。私は、その車を避けて回り込み、その車の前に行こうとしました。そして、私がバックミラーを見ると、その車が付いて来るのです。そして、私に向かって車のライトを点滅させ、車を、道の端に寄せるよう合図します。私は、「主よ、これはどういう事ですか?!」私の車のガソリタンクの蓋が開いているのか、コートが扉に挟まっているのか、何が起こったのかと考えました。そして車を道の端に止めました。その車から降りてきたのは、他でもないあの男でした。そして、敬虔な私は、窓をこれくらい(数センチだけ)降ろし、—(笑)— 私は、こんな感じでした。「何の用だ…?ほおっておいてくれよ。君は、何年たっても僕を追って来るのか?! ほおっておいてくれよ!」

彼の頬から涙が流れ落ちるのを見るまでは。彼はこう言いました。シアトルに戻るのに、高速道路に入ろうとして最後にもう一度祈ったんだと。シアトルに帰る前に私と会えるように。そうすれば、自分がイエス・キリストの救いを受け入れた事を伝えられるからと。おお〜マジですよ。ええ、拍手すべきですね。全ての栄光は、神に! 私が、自分の手柄に出来ないのは明らかですから。私は完全に、この男と衝突すると考えていました。ともかく、翌日、彼が町に戻った時に、彼の奥さんと彼、家内と私とで夕食に行きました。彼は私に話し続け、こう言いました。私を試していた、と。そして彼は実際、毎朝、どうすれば私がキレルかと考えていた。分かってましたよ!!そうでしょうよ! う〜彼は、私が本物かどうか見るために、私を試していたのです。私はどうやらそのテストに合格したようです。彼は言いました。

「僕は、君を壊せなかった。」「本当に?! あなたは、完全に私を壊してましたよ! 私は完全に、自分から聖さが消え失せていたと思うよ!」

彼は、「違う。僕は君を見ていた。君たちが、流産を経験するたび…」私たち夫婦は、3回流産しました。

すぐに続いてまた、そうになりました。そして、彼は影で私を見ていたのです。彼は、私の信仰が本物かどうか、知りたかった。そしてそうだった。彼は本物の私の信仰が欲しい、現実に効果のある私の信仰が欲しいと思った。人々はこれを探しているのです。人生でそれが必要だからです。彼らは、あなたが本物かどうかを見たいのです。あなたが本物で、信仰があなたの内で働いているという事は、彼らにも同じように働くという事だからです。彼らにも、それが必要なのです。これはまだ、イントロダクションですよ。
—(笑)—

ここから、今日の箇所に入ります。パウロは私たちに、クリスチャンの従業員や雇用者の特徴を提示します。私がこれを進める前に、前置きしておきます。こんな風に教えたいのではありません。

「これがクリスチャンとしてあるべき姿だ！」違います。どうか、こういった印象を信じないで下さい。それは、私たちがあつべき姿ではありません。私たちの姿は、“聖霊に満たされている時”です。私はいつもこの事で、主に私の心を調べてもらいますが、私の特権であるこの説教台に立ち、皆さんに、こんな事は決して言いたくありません。

「あなたにはこれが必要だ!」「私たちはもっとこうすべきだ!」違います。もっとこんな感じです。それは、職場というキャンパスに描かれた、“聖霊に満たされているクリスチャンの働く美しい絵”これが、この絵の姿です。これが、クリスチャンの従業員や雇用者が、どう行動するか絵です。これが理解して欲しい事で、聖霊に満たされている従業員や雇用者の特徴です。聖霊に満たされている従業員は、雇用者に従います。聖霊に満たされている従業員は、雇用者を尊敬します。聖霊に満たされている従業員は、自分の雇用者に対し真摯に向き合います。これは、正直さ、高潔さ、仕事の道徳で、人々が見ている時だけではありません。最高のクリスチャンというのは、誰も見ていない時に、どんな人であるかです。誰も見ていない時、あなたはどんな人ですか？ 一人だけ、見ている方がいます。それは主です。「でも、彼らは私がどれだけ熱心に働いているか、見る必要があるよ!」
いいえ、違います。主が見ておられます。「でも、彼らに見てもらいたんだよ!」いいえ、違います。主が見ておられます。ところで、あなたは誰の為に働くのですか？ あなたは彼らの為に働いているのですか？ 彼らを喜ばせようとしているのですか？ それとも、主を喜ばすために働いていますか？
一日の終わりに、あなたが家に着いて、すごく疲れていますね。それは良い疲れだけれど、とても疲れている。最終的に、あなたは誰を喜ばせたか。あなたは人を喜ばす者ですか？ それとも、神を喜ばす者ですか？ 木曜日の夜、これについて話しました。

人を恐れると、畏にかかると。(箴言 29:25)

あなたは、畏にかかり、奴隷となる事もあり得ます。奴隷になりたければ、人を恐れて生きれば良い。人のご機嫌伺いをすれば良い。そうすれば、奴隷となるのは時間の問題です。聖霊に満たされた従業員は、心を尽くし、力を尽くして働きます。そして、彼らがそのように働くのは、それを見ておられる方、主に対して行っているからです。

聖霊に満たされた雇用者の特徴の一つは、聖霊に満たされた雇用者は、自分の従業員を脅す事はしない。これは、雇用者として人々を雇っている私たちへの言葉だと思います。これが、聖霊に満たされたクリスチャンの姿ですが、私が考える、さらに大切な事とは、理由を理解する事です。「理由」の背後の「何」を。私たちがこのようになる時、私たちが、主の良き証人である時、そして、主に対するように、心を込めて働く時、そこには、主からの報いがあります。職場で、イエス・キリストの良い証人であるという事自体、それ自体で、その理由として十分です。そしてこれは、クリスチャンの従業員と雇用者の両方に当

てはまります。なぜか？ なぜなら、両方にとって同じ主人が天にいるからです。パウロが示している事で、興味深いと思ったのは、神は、従業員と雇用者を区別されないこと、また、えこひいきや不公平をされないという事です。従業員と雇用者の両方が、神に対して申し開きをし、主に答えることになります。雇用者が従業員の上の権威の立場にいますが、しかし、それは、雇用者が従業員よりも優れているという意味ではありません。また、雇用者が従業員より申し開きが少ないという事でもありません。私たちは天に同じ主人がいるからです。

ここで結論に入ります。クリスチャンの従業員とは、自分がいる環境に関わらず、職場の状況に関係なく、最も熱心な労働者で、最も信頼できる労働者になる。そして、クリスチャンの雇用者も同じで、自分の従業員をどう扱うかにおいて、最も優れた雇用者になる。従業員が、クリスチャンであるかないかに関わらずです。別の言い方をすると、クリスチャンの雇用者にノンクリスチャンの従業員がいるのなら、言うまでもなく、逆もまた同様に、ノンクリスチャンの雇用者の下で働くクリスチャン従業員もいます。あえて言わせてもらおうと、職場環境で、大きな割合を占めているのは、いつもノンクリスチャンの雇用者の、従業員であるクリスチャンです。彼らが、クリスチャンであるあなたを見ていないと思いますか？ もしかしたら、クリスチャンだから、あなたを雇ったのかもしれませんが。もう一度言いますが、彼らは、知りたいのです。

「OK。このクリスチャンを雇おう。彼は、日曜に休みが欲しいと言うから、それを与えよう。そしたら、教会に行けるからね。この人物を観察しよう。」

私が言いたいのは、雇用者は、他のノンクリスチャンの従業員よりも、あなたの事をよく見ているという事です。なぜなら、雇用者である彼や、彼女は、ノンクリスチャンの従業員とは違う事を、あなたに期待しているから。あなたですよ？あなた。これがどのように、いつ、職場のノンクリスチャンが、キリストに立ち返るかなのです。同意されますか？ これがノンクリスチャンの雇用者が雇う中、クリスチャンの従業員が最も信頼でき、最も熱心な労働者である時です。これが、彼らをキリストへと立ち返らせると思いませんか？ また、逆も同じく、クリスチャンの雇用者が、ノンクリスチャンの従業員を雇い、そのクリスチャンの雇用者が、自分の従業員たちを公平に、誠実に扱う。つまり、あなたがノンクリスチャンの従業員に対して、影響力があるとは思いませんか？ 実に悲しい事です、これは、どちらにもなり得ます。つまり、私たちは職場で、人々をキリストへと立ち返らせるのでなく、私たちが、人々をキリストから遠ざけてしまう事もあり得ます。なぜなら、クリスチャンの従業員や雇用者がイエス・キリストの良い証人ではなく、イエス・キリストの悪い証人だからです。これは私の経験ですが、悲しい事に、クリスチャンだと公言する事は、特に、ある職場の環境において良い事よりも悪い事の方が起こり得ます。クリスチャンだと公言するクリスチャンが、全ての従業員の中で最も怠けており、最も信頼されず、さらに言うと、最も不誠実である職場です。また、クリスチャン雇用者を私は考えます。その人が、ノンクリスチャンの従業員に、どんなメッセージを発信しているか。クリスチャンの従業員に対してさえ、それは起こります。「箴言 10：26」は、、、「箴言」の至る所にありますが、箴言 10 章 26 節は、

一箴言 10：26

怠け者は、これを遣わす者にとって、齒に酢、目に煙のようなもの。

箴言 25 章 19 節は、

一箴言 25：19

苦難の日に、裏切り者に抛り頼むのは、悪い歯やよろける足を頼みとするようなもの。

これは、なかなか生々しい描写ですよ。ところで、さっと言いますと、これもまた、私の経験なのですが、これは、企業環境の中だけではなく、時に、教会環境の中でも同じようになり得ます。「ヘブル人の手紙」の著者が書いている事を、聞いてください。「ヘブル人への手紙」13章17節から18節。

ーヘブル 13:17ー

あなたがたの指導者たちの言うことを聞き、また服従しなさい。この人たちは神に申し開きをする者として、あなたがたのたましいのために見張りをしているのです。ですから、この人たちが喜んでそのことをし、嘆きながらすることにならないようにしなさい。そうでないと、あなたがたの益にはならないからです。

ーヘブル 13:18ー

私たちのために祈ってください。私たちは正しい良心を持っていると確信しており、何事についても正しく行動したいと思っていますからです。

私が最善の模範の一つだと信じるもので締めくくりたいと思います。誠実に仕え、その環境に関わらず立派にふるまい、さらにその事によって、報いを受けることの模範です。その模範は、エジプトで奴隷だったヨセフです。この男は、その話の中で、もし彼が求めるなら、すべてにおいて弁明することもできました。彼は確実に、どう考えても、自分の義を示す事が出来たのです。ヨセフの兄弟たちは、ヨセフを殺そうとし、彼を奴隷として売りました。彼は、主人の妻を強姦しようとしたという虚偽の訴えによって、投獄されました。これはどうでしょう？ そして、彼は地下牢に投獄され、裏切られ、忘れ去られる。神が、彼に夢や幻を与えられた時から、それが成就し、実現するまでに17年です。この期間、彼は、人生での自分の立場、運命について、憎しみを抱き、不満を持つこともできました。しかし、その代わりに、彼がどうしたかという、皆さんも、こう言うのを聞いた事があると思います。「置かれた場所で、咲きなさい。」これが、ヨセフがした事です。主に対するように、彼は熱心に、心を尽くして働き、その事で、ポティファルや、最終的にファラオの注目を受けました。そして神は、彼を可能になさり、彼を大きく繁栄させるため力を与えられ、そうして、彼はエジプトでファラオの次に最も権力のある地位へと、昇進しました。良い模範です。

最後に、もう一つ、これは、最後の最後ですよ。何年も前、私がおもに本土で経験した事を話したいと思っています。私に近づいてくる人々がいて、こう仰います。「私は本当にミニストリーに関わりたい。」

そして、私は彼らと話し、一緒に祈り、彼らの話を聞きます。私がかこうすると、ある事が明らかになります。彼らはたいてい、こう言うのです。

「私は仕事をクビになりました。これは、ミニストリーに入るように神が私を召されていると思います。」

「おお、本当に??」聞いてください。私は prophet/預言者ではありません。私は non-profit/ 非営利みたいな感じです。ー(笑)ー

すみません。皆さんがまだ付いてきてくれているか確認したかっただけです。私が、確かに明確に言える事は、あなたが仕事を解雇されることは、あなたがミニストリーに関わるべきだと神があなたに示す方法ではありません。あなたは、なぜクビになったのですか？ なぜ、解雇されたのですか？ あなたは、ミニストリーに関わることを、たやすい事で、簡単なことだと考えているのですか？

「ええ、だって、神の人々と、クリスチャンと共に働けるんですよ！」おお...私が誰かを雇う時はいつでも、"その話"をしなければなりません。私は彼らにシェアしなければなりません。もう一度言いますが、おもに本土にいた頃の経験を話しています。私は彼らを座らせ、こう言います。

「聞いてください。もしあなたが、楽観的な考え方をもって、教会のこの職業に就くなら、」「主を褒め讃えます〜♪」というように。「あなたは、とてもとてもとても、幻滅することになります。あなたは分かっています。」

ここには、霊的な要素もあります。時間の関係でこれについて触れませんが、しかし、あえて言うなら、もしあなたが、いわゆる“世俗の仕事”に就くより、ミニストリーの方が楽な事だと想像するなら、あなたは、悲しい事に、間違いを犯しています。もう一度言いますが、これはあなたが、聖さと世俗を分けている事の証拠です。あなたは、神があなたを置かれた場所の、いわゆる”世俗の仕事”で神がなされたい事を、過小評価しています。あなたがそこにいるのには、目的があります。そして神は、その場所で、力強くあなたを用いる事がお出来になります。あなたが、忠実だと見なされるなら、多く与えられた者はみな、多くを求められ、あなたが与えられた事に忠実であるなら、その時、神は、多くの事をあなたに任せられるでしょう。皆さんが、私をこの教会の牧師として見ない事を願います。もう一度言いますが、牧師でいる事は私の特権で、皆さんに、「あなたには分からないよ」と言うのは簡単です。あなたには分かりません。あなたがミニストリーに入る時、あなたは、信じられないような霊的戦いの最前線にいます。それは、実に激しく、あなたが、いわゆる世俗で経験するものとは比べ物になりません。皆さんの助けになることを願います。祈りましょう。

天のお父様。あなたの御言葉を本当に感謝します。あなたの御言葉の、厳しい誠実さに感謝します。あなたの御言葉から、私たちは実践的な適応が出来ます。主よ、あなたの聖霊が、このことを用い、私たちの人生の次のレベルへと導いて下さるように祈ります。イエスの御名によって、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7